

女性の地位向上（1/5）：世界的 解

:

明:

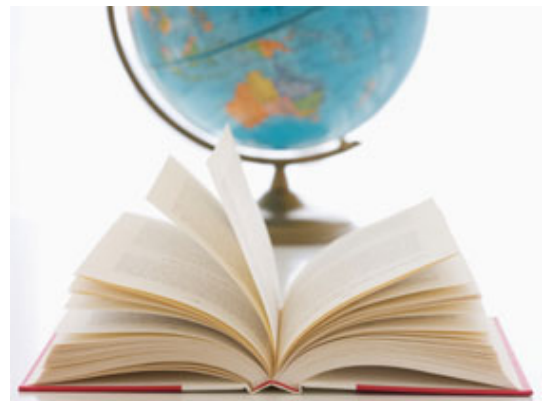
カナダのマギル大学で行われた、イスラ ムがいかに女性の地位を向上させたかについての の抄 。
第一部：女性に して西 世界とイスラ ム世界の に横たわる根本的相 に する 明。またギリシャと初期
キリスト教による女性 とはどういったものだったか。

目:[事代における女性](#)

より: アリ アッ=タミ ミ

日 1 Feb 2011

集日 02 Aug 2015



イスラ ムは女性の地位を向上させました。こう くと多くの人々は、イスラ ムは女性の地位を向上させるところか逆に抑 しているのではないか、と矛盾を感じるかもしれません。これに し、 代社会には主に二つの 解が存在していることを述べなければなりません。これら二つの 解はたびたび 突を ますが、それは各人が私的な をする 人的レベルにおいてだけでなく、これら二つの世界的 解についての正当性と信 性に する の である国的レベルにおいてもそうなのです。

世界的 解の一つは西洋の自由主 社会のもので、その起源がユダヤ キリス
ト教の に翻るものとされますが、 の上ではおそらく宗教改革 に出てきた理念にそのは

っきりとした起源が 出されます。それは世俗主 と、 蒙思想の理念を元としたものです。

そして二つめのものは、ムスリムによるものです。それはイスラ ム世界の 解であり、この 解ではその起源と理念は神（アラビア のアッラ ）によってムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）に下された 示を元としています。この 解を公言する人々は、それがあらゆる 代に 用可能なものとし、その 性と有益性は特定の 代、 所や人 に限定されたものではないとします。同 に、一つめの 解である西洋世俗主 および自由主 の においても、彼らは自分たちの世界的 解、理念、 、および文明は人 にとって最良のものであると信じています。日系米国人作家のフランシス フクヤマは、“The End of History and the Last

Man”（「 史の わり」）という本を著しており、彼はその本の中で、国 社会においては自由 世俗主 が最 的に 利し、それ以上の社会制度の 展が するという を打ち立てています。また彼はその中で、この世俗的 解を受け入れていないのはイスラ ム世界だけであり、こうしたイデオロギ による が起こるだろうと付け加えています。

こう に 介された上で、これら二つの世界的 解による 争トピックの一つとして、西洋世俗自由主 と 的イスラ ムにおける女性 があります。女性の地位とは何でしょうか？女性はどうのように られているのでしょうか？女性是一方の文化では高い地位を有し、もう一方では抑 されているのでしょうか？

西洋の 解とは、女性は西洋社会においてのみ良い待遇を享受し、 代と共に更なる 利を得ているのであり、イスラ ム世界における彼女らの 妹は依然として抑 されている、というものです。しかしムスリム から れば、 に男女に等しく本当の自由を提供するのはイスラ ム的システムであり、西洋世界における女性は男性と同 、 的には存在しない自由があると思っ 込まれているのだと主 します。

イスラ ムにおける女性理解は、哲学的根 、または 念的理解と呼ばれているものを明 に理解しない限り、 切な形で理解されないでしょう。なぜなら、これは 的には神学的概念であるからです。

まずは相 における差 を比 するため、西洋社会における女性像とその理解が正 にはどのようなものであるかを再考してみましょう。西洋社会では、言者イエス キリスト（彼に平安あれ）以前から存在するギリシャの を していることが自 されているため、そこにおける知的 はアリストテレスやプラトンなどによる初期ギリシャの著作から 出すことが出来ます。

女性はどうに られていたのでしょうか？女性に するアリストテレスとプラトンによる理念とはどのようなものだったのでしょうか？彼ら初期ギリシャ哲学者たちによる著作を精 すると、彼らは女性に して非常に蔑んだ 方をしていたことが分かります。アリストテレスは自らの著 の中で、女性は完全な人 ではないと じ、女性の性 は非人 的であると しているのです。したがって女性は生来不完全であり、信 されるべきではなく、蔑 に するというのです。事 、ギリシャ社会における自由民女性は、ごく かな 族 の女性を除き、奴 や 物と同じような位置付けであったという があるのです。

アリストテレス学 による女性 は、その 初期カトリック教会の に受け がれました。トマス アクィナスはその著で、女性は 魔の化身であると主 しています。アダムとイヴの は、アリストテレスによる初期ギリシャの理念にひとつの重要性を与えています。それはつまり、女性こそが男性の破 の原因であり、それゆえサタンの化身であり、彼女らによって最初に人 は凋落し、 はまず女性からもたらされるのであるため、彼女らに しては用心深く警戒しろ、というものです。この の思想は教会の神父たちの 物によって中世を通して根付いていました。彼らの 物からは、この が 々な角度から されていることを 出すことが出来ます。しかしながらプロテスタントによる宗教改革の 、ヨ ロッパはカトリック教会の束 の から自らを解き放つことを しました。蒙 、または 蒙 代と呼ばれた思想によって、彼らはそれらの多くの理念から脱却しなければならないと感じ始めたのです。それら理念の一部は太 が地球の周りではなく、地球が太 の周りを公 していることを める科学的な性 のものや、マルチン ルタ の著作に代表される神学的なもの、また社会における女性の地位といった社会的なものが含まれました。しかしながら、蒙思想の著者たちは依然として女性は完全な人 ではないとする古い 解から根本的には脱却出来てはいませんでした。ルソ 、ボルテ ルのようなフランス革命 の作家などは、女性は管理が必要な、重荷となる存在であると 做していました。それゆえルソ は著

作「エミル」において、女性は男性に理解出来ることを理解することが出来ないため、彼女らには った形式の教育を施すべきであると提言しているのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/675>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。